

福岡

福祉活動専門員の

ま な こ

社協活動前進のために

No.33・34

1993年3月発行 福岡県専門員連絡会 まなこ編集委員会

印刷 コロニー印刷



「筑後地区社協職員連絡会」活動への取組み

筑後市社協 中山 陽一

特集

PART I

職連協は今

一九八七年末、「社協職員全国連絡協議会（仮称）」の組織化が全社協によって提案されました。これを機に、県内でも職連協づくりに向けての討議と取り組みが始まりました。

「まず、ブロックで職連協を結成して、県組織

を」という方針が専門員連絡会として確認されましたが、未だ県組織の結成には至っていません。今回は、「筑後地区社協職員連絡会」と、「嘉穂郡地域社協連絡協議会」を取り上げレポートします。

まずはじめに

筑後地区内の市町村社協二〇協議会が集まって「筑後地区社協職員連絡会」を結成してから五年になります。

五年前の一九八七年五

月、広川町の山下喜市社協会長の「同じ社会福祉協議会に働く仲間たちが集まる機会さえないのは・・・」という発言をきっかけにして、初めての筑後地区内社協のボーリング大会を瀬高町で開催。瀬高町の平川治事務局長、待鳥朋子専門員の尽力により、楽しい交流

をもつことができました。

大会後の懇親会の席上、職員連絡会の提案がなされ、全員の賛同の下に以降、準備会の結成、福島信昭久留米市社協事務局長を第一期会長とした「筑後地区社協職員連絡会」が動き出したのでした。

こうした動きは、すでに社協をやめられた幾人かの方々の尽力と、数多くの現役の職員の方の共通の思いと努力があわさってできたものと思います。

その思いの中には、なんとか社協を良くしたいと思う気持ちが重なっていたのではないのでしょうか。

行政職とはかなりの格差を持つ社協職員の処遇状況、働く職場としての職場環境に様々な課題を持っているのが社協の現実、それでいて社協に働く職員一人一人がなんとなく孤独に仕事をしているという感じはどこにもある課題と云っていいのではないだろうか。

加えて、当時、県内のある町社協における社協職員辞職に関わる問題は、社協に働く職員の身分の不安定さを物語るものがあり、一人の職員では解決できない問題を、社協全体、地区内社協全体で考え、解決していくことが大切であるということ、骨身にしみて感じた事件でした。

ともかく、このようにして結成した職員連絡会ではありますが、結成後は、二〇社協の職員みんなが楽しく交流できることを前提としながらも、職連（職員連絡会）として、社協を良くするために、職員全体の知恵を結集して、今後の活動

のあり方や方向性を考えていく、そんな組織にして行きたいと考えています。

職連結成の動機 社会福祉協議会に 思うこと

一三年前、社協に入った私は、それまで久留米市の社協で実習やアルバイトをさせてもらっていた経験から、なんとなく、社会福祉協議会というものにはこんなものだったとすりこみ現象を裏意識の中で持っていたように思います。

そんな私が筑後市の社協に入ってから感じたことは、①事務局の人数が少ないということ、②若い人が少なく、話相手がいないということ（まわりは年配者で、見守ってもらおうといった感じ）、③「社会福祉協議会」について、何が理想であり、何が課題かを語るべきでないということなどがあつたように思います。加えてこれまでに感じたことを上げると、④同じ社

協に勤める社協事務局職員とホームヘルパー、老人福祉センター職員の間は何とも知れぬ心の溝が感じられたこと（お互いの勤務を影で批判し合う状況などが見られ）、⑤それぞれの職員間で雇用の状況が違っており、非常勤や嘱託職員の方に対して、同じ仕事をしているのに給料だけが違うのは、といった素朴な疑問がありました。また、⑥社協活動

について、全体的に報告や会議というものが一切なく、なんとなく社協としてのまとまりを感じることができない職場であつたように思います。

民間の企業に勤めた経験からすれば、その営業方針、営業状況、日々の伝達事項の発表、勤務評定、仲間づくりは、その企業の営業目標を達成するために、一丸となつて当然行わなければならない事項であるのです

が・・・さて、そのような社協について感じることは、今で

もほとんど状況としては変わっていないように思います。

地域福祉の時代、それは従来から社会福祉協議会の目標点でもあり、そのような重要な時に事業推進体制の点で課題があることは、重大な問題といえるのではないかと思います。それがまず第一に職連づくりを考える動機といえます。

職連結成の動機 専門員連絡会の 取り組み

在宅福祉サービスが県社協を通して声高に叫ばれるようになって、それまで各社協が自主的な事業運営として展開してきた取り組みに波風が立っていた一九八五年頃、筑後地区の専門員連絡会は、この在宅福祉サービスについての研究会を盛んに開催しました。

そこでの課題は、①「在宅福祉サービスをといても現在の仕事で手一杯」という課題、それに、②「や

るのはいいが、社協の力量という観点やサービスのあり方からしたとき、簡単には飛びつけない」という課題がありました。それまで独自に地域の福祉課題について活動していた各社協にとつて、在宅福祉サービス（特に食事サービスと入浴サービス）という新規の事業開設には、その土台のあり方から見直し、どのような体制なら実施できるかを問い詰めるような課題であつたのではないのでしょうか。

人的な配置は？財源の捻出は？事務的な対応は？資器材の導入は？社協事業における位置づけは？行政との責任分担の課題は？など、在宅福祉サービス実施については、根本的な課題が山積みしていました。筑後地区専門員連絡会では、とりあえず専門員が取り組んでいる業務調査を実施。委託業務や社協業務外の仕事を数多く抱える社協の実態が明らかになると

もに、不十分な体制の中で在宅福祉サービスの見切り発断の実情が判明しました。

真に在宅福祉とは何か、それを社協としてやる場合の方法は、といった点での十分な煮詰めがないままの実施だったようです。

結局のところ行き着いてきたのは、在宅福祉サービスのあり方云々ではなく、社協事務局の業務推進体制のあり方に根本的な課題があるということでした。

そこでの課題としては、羅列的にたくさん項目が出されています。

- ① 団体事務・委託事務が多すぎる。
- ② 事業の見直しができない。
- ③ 委員会・部会が事務局まかせの状態。
- ④ 仕事は増えるが職員は増えない社協の実態（事務局の職員数が少なすぎる）。
- ⑤ 業務分担がはっきりしない。
- ⑥ 事務局長が定着しない。
- ⑦ 思いつきだけ見られる。

で事業が開始される場合が多い。⑧社協役員が社協を理解していない。⑨行政でやるべきことと社協でやるべきことの区別がつかない。

⑩事務局内の話し合いがなされていかない。こんな数多くの社協の課題を考え、解決していくには、一職員の考えでは到底どうしようもなく、必然として、社協全体にこれらの問題を考え、職連結成の動きにつながっていききました。

職連結成の動機
社協職員の死・ある町社協で起こったこと

職連結成の動機 社協職員の死・ある町社協で起こったこと

県内社協に若い福祉活動専門員が徐々に入り、活気が出てきて、社協もおもしろいと思いつつ始めた頃、二つの暗い話が飛び込んできました。

その一つは、町社協で協会会長から一職員が退職を勧告され（具体的には退職に見合う理由もなく）、地区内社協会長さんたちによる

説得（町社協会長に対する）の甲斐もなく、退職に追い込まれた事件です。

この町の社協の専門員は、県内社協専門員の中でも、生え抜きとしては一番古株で、仲間たちに信頼されている人で、専門員仲間の動揺には隠しきれないものがありました。

少数職場の社協とは、こんなにも雇用が不安定なのか・・・なんとかできないか・・・

もう一つの方は、行橋市の緒方さん、赤池町社協の池田さんという両専門員が亡くなられたことです。いずれも四〇歳代という若さでの他界でした。

その後の家族の生活が心配されるといふことで、社協専門員他の呼びかけで募金活動が取り組まれました。

日常的な健康管理の体制はどうだったのか。社協職員としての身分的なことはどうだったのか。改めて問題となる事柄でした。二度と町社協のような不

合理的な退職者を出してはいけない、日々の健康管理や身分的な課題は、全ての社協職員にとっての課題であり、それらのことを考えていくべき新たな組織づくりが必要。

そんなことも、職連結成の強い動機となっています。

結成までの経過

「筑後地区社協職員連絡会」の結成までの経過については、「はじめに」に記している通りの経過で結成の運びとなったわけですが、そこに重要な役割を果たしたのは、やはり筑後地区の専門員仲間たちです。

ともかく一つの行事（ポリング大会や総会後の懇親会等）を行うためには実行委員会をつくり、それぞれの役割分担をもって楽しい企画にし、会を盛会なものにする必要があります。

そのために、いろいろな能力を持っている専門員が工夫を凝らし、また、各社

協の参加者を取りまとめることができたから、今日の職連結成がスムーズに運んできたということがいえると思います。

地区内専門員が職連結成に一丸となっていたことが、やはりなにより力だったように思います。

加えていえば、活動を支えていく屋台骨として、未熟な社協をどうにかしているかねばと考える多くの事務局長の後ろ楯があったからともいえるように思います。

そして何より、社協に働くほとんどの人々の中に社協をどうにかしなければという意識があり、職連結成準備会の趣旨が時代の要請としてあったということがいえるのではないのでしょうか。



〈結成までの経過〉

- 1987年 6月16日 専門員研修会で広川町の山下会長が「社協職員が交流できるような場づくりを」と発言。
- 10月24日 筑後地区社協職員交歓会実施のための準備会で6人が集まる。
(呼びかけ/中山・執行)
- 11月7日 社協職員交歓会実行委員会
(実行委員長/平川事務局長)
- 12月19日 第2回社協職員交歓会実行委員会
- 1988年 1月21日 第3回社協職員交歓会実行委員会
- 1月24日 社協職員交歓会(瀬高町)
(34人参加・職員連絡会結成の緊急提案)
→各社協への報告
- 2月3日 社協職員交歓会反省会
(交歓会の反省と社協職員連絡会結成の提案の取扱い協議)
→各社協への報告
- 3月16日 筑後地区社協職員連絡会(仮称)結成の打ち合わせ会
(呼びかけ/交歓会事務局長名)
(職員連絡会設立準備委員会と名称)
- 5月17日 職員連絡会設立準備委員会
(3人の事務局長を代表呼びかけ人として)
→各社協への報告
- 6月29日 第2回職員連絡会設立準備委員会
(職員結成までの段取り、規約案・役員体制・事業計画・財政計画づくりの協議)
- 8月11日 第3回職員連絡会設立準備委員会
(総会議案づくり・交歓会計画)
- 8月31日 代表呼びかけ人により、地区内20社協に対し、社協職員連絡会への加入願いと、設立総会の案内
(設立趣意書・加入申込書を添付、市部2万・町村部1万の会費)
- 9月23日 筑後地区社協職員連絡会 結成総会
初代会長 福島信昭事務局長
(アンケートの実施→全職員・当日の出席59名)

活動状況の紹介

このようにして地区内すべての社協の参加を得て結成された「筑後地区社協職員連絡会」は、その当初、会のあり方・組織機構の問題を中心に協議。会のあり方については、①社協活動についての研修会(各部・全体)・情報交換・調査活動、②福利厚生、③身分保障についての調査・研究、④交流・親睦会、⑤広報活

動を重点に活動していくことが確認されました。

また組織機構の点では、事務局長、専門員、事務職員、事業職員、ホームヘルパーのそれぞれにどのような組織があるかを調べ、全体としてどう調和させていくかを協議し、将来的には各部の組織(部会のような)をつくり、それぞれが独自に活動を展開できるようにし、その連絡組織、連合組織としての連絡会を考えていきたいということになり

ました。

しかし、当面は専門員連絡会をのぞき、地区内組織として独自の活動が展開できる状況にはなく、連絡会活動で各部研修会を展開し、その発展を待つて下部組織の結成を図ることとなりました。

全国的な職員連絡会活動の展開が話題になる中で、筑後地区の社協職員連絡会は、社協職員の資質の向上と職場環境の改善を主なテーマとして活動を開始しま

した。

その第一の取り組みは、「社協活動基盤調査」の実施。社協に対する基礎調査と、職員に対する業務環境・処遇状況・職連活動のあり方に関する調査を行いました。社協調査は、すべての社協から回答、個人調査は、一一〇人(総数は一五〇人)からの回答があり、その集計結果は、第二回総会で発表、以降の活動指針となっています。

第二の取り組みは、各部(事務局長・事務・事業・ヘルパー)の研修会の実施。社協活動に関する資質向上を目的とする研修と、職場環境や職連活動に望む事などについての自由交流は、全ての職員の研修の機会を保障すると共に、職務における課題点が集約され、職連並びに各社協の取り組みべき課題を明確にすることができるようになりました。

第三の取り組みは、会報の発行。各部研修会の後に発行する「連絡会通信」の

発行は、研修会当日に出席できなかった職員並びに全体の社協職員に連絡会活動を知らせることとなり、研修会を全体のものとすることができたように思います。

第四の取り組みは、総会。年間の連絡会活動を総括すると共に、地区内社協職員の交流の機会の貴重な場面づくりとして、年々その出席者数は拡大してきています(第五回総会では八二人の参加あり)。

「職連」活動のこれから

職員連絡会の取り組みは五年を経過し、一応の定着化が見られます。しかし、その取り組みも定式的なものとなる傾向があり、見直しの時期にきているように思います。

社協活動に関する資質の向上はどこまで高められたか。各職場環境の改善は進んだか。各社協間、職員会の交流は十分展開できるようになったか。

これらの質問を浴びせられたら、どれもまだ十分とはいえないと答えるしかありません。

事務局の片手間の職務では十分いきとどかないし、役員並びに各社協・各職員の自覚的な実践が今後の行方を左右するものだと思います。

各部の職員における課題は次の通り。

事務局長／

①社協活動の牽引車として、「高齢化社会」対応の課題と社協力量の問題、県社協の指導や行政への対応を大きな課題として持っている。②二～三年といった期間を決められた雇用実態があり、これからの地域福祉の時代に中核を担おうとする社協にあつて、事業の継続性の点から見ても大きな課題となっている。③社協の職場環境の改善の中心的な担当者として、行政その他との交渉に最大の課題を持たされている現状がある。

事務職員／

業務には、一般会計・共同募金・生活福祉資金・団体事務・福祉センター事務・善意銀行・香典返事務・委託業務事務と様々にある。

①身近な業務の改善について細やかな研修が欲しい（具体的な改善の手立ても）。②委託事務・団体事務など、本来社協が取り組むべき事務活動かの検討が欲しい。③事務屋は事務をということだけでなく、社協活動のあり方を研修する機会づくりを。

事業職員／

業務には、運転手・ポイラー・売店・管理・在宅サービス担当・児童館職員などなど、それぞれが別個の業務についている現状にある。①業務ごとの研修が欲しい（そうすると対象者がごく少なくなり、また再三の研修設定が必要となる）。②各社協間で自由に職場を訪問できる関係づくりが欲しい。③統一した研修日の設定が難しい。④雇用状況に

は様々に形態の違いがあり、不安定な状況がある。

ヘルパー／

①ホームヘルパーの活動は、在宅福祉の展開にとって重要な位置を占め、対象者との関係づくりや活動の方法・範囲・記録表の書き方・相談業務のあり方など数多くの研修課題がある。

②社協内で業務の打ち合わせや会議の設定がなく、社協活動とのすり合わせがほとんど行われていない。③雇用の条件がまちまちで不安定な状況が見られる。④そのことからくる職員間の関係に悩む人も多い。

また、職員連絡会全体についての課題としては次のようなことがあります。①各部研修会の設定が役員まかせの状況となつており、各部の主體的な動きが見られない。②各社協における職場環境改善の動きが鈍いよう。③すでに出されている課題について、各社協・職連の解決の取り組みが不十分。④職連活動では

解決できない課題もある。⑤「通信」発行が事務局の多忙でできていない。⑥職員間の交流活動をもつと展開する必要がある。⑦役員を出す社協に偏りがあり、各社協の職連への参加意識を高める必要がある。

以上のような課題がすでにあり、また残されており、これらの課題を解決していくことが職連活動を進展させていくものと考えています。

「職連」活動のこれから

職連活動は、在宅福祉の時代に、職員の資質向上と処遇環境改善の取り組みという全国的な動きに、われわれ社協職員が自らその道を切り開く取り組みといえます。

社協のことはわれわれが一番よく知っている。地域のことはわれわれが一番よく知っている。よく知っているわれわれが自らの手で社協を働きやすい、また生

き生きとした地域福祉の活動拠点にしていく取り組みをすることが、住民にとつて安心して頼れる社協をつくることになっていくのではないか。そう考えたいものと思います。



「嘉穂郡地域社協連絡協議会」への取り組み

筑後市社協の中山陽一さんにレポートいただいた「筑後地区社協職員連絡会」以外に、県内にはどのような職連があるのでしょうか。

「〇〇郡事務局長連絡協議会」といったものではなく、加入対象を社協職員と規定している連絡会としては、「嘉穂郡地域社協連絡協議会」、「粕屋郡社協連絡協議会」、「山門三池郡社協連絡会」、「鞍手郡社会福祉協議会」などがあるようです。加入対象・会費・活動内容もさまざまですが、目に見える実績をあげている職連として「嘉穂郡地域社協連絡協議会」（以下、「嘉穂郡社協」という）の取り組みをレポートします。

活動内容の紹介

嘉穂郡社協の発足は、一九七三年。発足当初からきわだった活動があったわけではなく、穂波町が事務局を担当した一九八六年ころからがぜん動きが活発になってきました。

活動の原動力は、専門員を中心とした担当者会議で、最低月に一回（その他、必要に応じて）は集まる。ここで企画を叩き、会長・局長会議、さらには、「郡町長会と郡社協会長会との懇談会」へと積み上げていく。一九九一年度の事業報告書には、次のような実績が報告されています。

- 会議12回
 - 会長・局長会議1回／専門員会議8回／会長・専門員会議1回／会長・町長の懇談会1回／郡内老人ホームとの懇談会1回
- 研修会5回
 - 職員研修会1回／ヘルパ
 - 研修会1回／役員研修

会1回／郡民協との合同研修会1回／会長・局長・専門員研修会1回

□ 共働事業2回
なかよし交流会（郡内障害児のゲーム交流会）1回／カラオケ交流会（郡内障害児親の会のレクリエーション）1回

活動の頻度と多様性には目を見張るばかり。さらに一九九二年度には、社協・民協・社会福祉施設・行政（保健婦）による「保健・福祉関係者合同研修会」、行政福祉担当係長との合同会議といった新しい取り組みも始められています。当然、郡社協事務局を担当したところの事務量がいかほどのものか、察しのつくところです。嘉穂郡社協の力量を象徴的に示しているものとしては、一九九二年一月六日付の西日本新聞にも掲載された「平成四年度郡内老人ホーム入所者実態調査（六二〇名）」があげられます。一職連である嘉穂郡社協が、郡内老人ホーム一〇施

設とタイアップしてこの種の調査を実現できたこと自体が、まず驚きです。そして、人は在宅から老人ホーム入所生活へどういう状況で移るのかを問うたこの調査が、結果として本人・家族・福祉関係者が、本家に自宅で暮らしたい、させたいという意識・意欲をもっているのかを突きつけるものとなったという意味合

いで、この調査は、私（県社協・藤田）にはとてもショックなものでした。興味のある方は、この報告書を手に入れて一読ください。

郡町長会と郡社協会長会との懇談会

嘉穂郡社協の取り組みの中で、ぜひとも他の職連・地域でも試みていただきたい、その手法を学んでいただきたいのが、「郡町長会と郡社協会長との懇談会」です。老人保健福祉計画が各自治体で策定され、老人福祉施設と身体障害者施設への入所措置権が町村に委譲

される一九九三年度は、市町村格差の時代の幕開けとも言えます。この時代にこそふさわしい手法を、嘉穂郡社協は先取りしているのです。一九九二年度の懇談会に提示された要望事項は、以下の一六項目です。

- ① 社協職員の適正配置人員確保と役場職員と格差無しの身分保障を八町もれなく確立してほしい。
- ② ホームヘルパーなど、在宅介護看護専門職の増員と配置を早急に八町もれなく実施してほしい。
- ③ 「老人日常生活用具給付等（貸与）事業」を八町もれなく実施してほしい。／申請を待つのではなく、積極的に周知徹底してほしい／自己負担をなくしてほしい。
- ④ タクシーおよび福祉タクシーの料金補助を八町でもれなく、七五歳以上の高齢者および障害児者に移動・外出保障として実施してほしい。
- ⑤ お年寄りのデイ・サービ

嘉穂郡地域社協連絡協議会
郡町長会と郡社協会長会との懇談会 資料(1)

要望事項	要望内容	説 明		
		事務局長	専門員	専任職員
1 社協職員の 適正配置人員確保と 役場職員と格差無しの身分保障を 8町もれなく確立してほしい	桂川町	人員の現状 1	1	1
	全社協モデル参考	-	-	-
	増員の実施	-	-	-
	役場職員と同一の給与費の適用	▲	▲	▲
	稲築町	人員の現状 1	1	1
	全社協モデル参考	-	-	-
	増員の実施	-	-	-
	役場職員と同一の給与費の適用	×	○	○
	嘉穂町	人員の現状	1	0
	全社協モデル参考	1	1	1
	増員の実施	-	×	▲
	役場職員と同一の給与費の適用	-	-	-
	額田町	人員の現状 0	1	0
	全社協モデル参考	1	-	1
	増員の実施	-	-	▲
	役場職員と同一の給与費の適用	-	○	-
	筑穂町	人員の現状 1	1	1
	全社協モデル参考	-	-	-
増員の実施	-	-	-	
役場職員と同一の給与費の適用	×	○	×	
碓井町	人員の現状 0	1	1	
全社協モデル参考	1	-	-	
増員の実施	-	-	-	
役場職員と同一の給与費の適用	-	×	×	
穂波町	人員の現状 0	1	2	
全社協モデル参考	1	2	-	
増員の実施	▲	▲	-	
役場職員と同一の給与費の適用	-	○	○	
庄内町	人員の現状	1	1	
全社協モデル参考	1	1	-	
増員の実施	-	×	-	
役場職員と同一の給与費の適用	-	○	×	

※実施(適用)状況
○ 実施(適用)
▲ 検討中
× 実施(適用)していない

*右の回答欄の
- については
要望無し
回答無し
回答不要
回答不能
のいずれかである

嘉穂郡の社協はすべて法人化が済んでおり、法人化にともなう最低限の事務局人員配置の時代は終わり、高齢社会に対応する地域福祉を進める時代の事務局人員配置が必要である。つづくわねばならないのは、社協は福祉の実践団体でもあり、ただ単に机に座っている人がいさえすればいいという「事務局」のイメージで人員配置を考えてもらうと、社協の特色が発揮できないということである。

◎ 全国社会福祉協議会参考資料
【町村社会福祉協議会モデル】
事務局職員体制の最小限のモデルはつぎの通りである。A総務部門と、B組織部門は人口の規模に応じて増やしていく必要があり、C事業部門は事業実施の状況に応じて増やす必要がある。

- 管理業務 専任事務局長 1名
最低4~5名+人口・事業規模に応じて
+直接事業職員
総務部門 共通事務機能、事業・活動支援機能、広報・啓発機能
*社協運営・経理・総務を含む 1名
組織部門 調査研究・開発機能
地域組織化機能・計画策定提言機能・福祉組織化機能
*福祉活動専門員 1名
ボランティアコーディネーター 1名
事業部門 福祉サービス等企画実施機能
相談援助機能
*1名 + 直接事業職員
受託事業部門 在宅福祉サービス等の受託による実施
*1名 + 直接事業職員

スセンターを八町もれなく町行政で設置してほしい/進んで小学校区ごとに一つずつ設置してほしい/障害児者のデイ・サービスセンターを八町もれなく町行政で設置して

ほしい/当事者団体が取り組んでいる分については、その事業を町に移管するか/町がその事業を当事者団体に委託するか/町がその事業主体の法人化を十分援助する

か/いずれにしても、早くに十分な職員・予算をつけてほしい。
6 緊急通報システムを八町もれなく設置してほしい/設置台数を必要な人に行き渡すように増やし

てほしい/設置申請の制限につながる要項は削除してほしい。
7 ショートステイ(短期保護)の制度を八町もれなく利用しやすくしてほしい/老人ホームについては、利用券方式を導入してほしい/老人保健施設にも老人ホーム同様にショートステイを委託してほしい。

ほしい/送迎付きの施設入浴と訪問入浴とどちらも用意し、選択できること。
10 在宅介護支援センターを八町もれなく設置してほしい。
11 訪問介護ステーションを八町もれなく設置してほしい。
12 自立支援型(介護軽減型)住宅を八町もれなく保障してほしい/住宅改造を、利子補給・相当額援助・無償で実施してほしい/自立支援型(介護軽減型)公営住宅をできるだけたくさん建設してほしい/これからできる公営住宅は自立支援型(介護軽減型)にしてほしい。
13 在宅介護者には十分な介護手当を八町もれなく支給してほしい。
14 「地域福祉基金」の使途については、八町もれなく早急に活動計画を立て、住民福祉活動に活かしてほしい。
15 老人保健福祉計画づくりは、住民の意向を十分に

8 給食サービスを八町もれなく実施してほしい/町行政で実施してほしい。
9 入浴サービスを八町もれなく実施してほしい/町行政で実施して

嘉穂郡地域社協連絡協議会
郡町長会と郡社協会長会との懇談会 資料(2)

要望事項	要望内容							説明	
	ホームヘルパー	障害者	老人	訪問看護婦	訪問リハビリ士	保健福祉専門職			
2 ホームヘルパーなど、在宅介護看護専門職の増員と配置を早急に8町もれなく実施してほしい ※実施(充足)状況 ○ 実施(充足済み) ▲ 検討中 × 実施(充足)していない ★保健福祉専門職とは 役場の福祉課や保健衛生課に配属を予想される内部異動をしない専門職のこと ケースマネージメントや保健福祉関係者・関係団体・関係機関のコーディネートや、制度サービスの改善創設勧告などをする *右の回答欄の-については 要望無し 回答無し 回答不要 回答不能 のいずれかである	桂川町	人員の現状	5	-	1	0	0	0	●ホームヘルパーの人員配置 少し古くなるが一応ゴールドプランに基づく厚生省基準を仮に採用すると $\frac{75\text{歳以上人口}}{1,000} \times 6.7 \times 75\text{歳以上人口} = \text{要配置数}$ ●ホームヘルパーの設置補助金 問い「ホームヘルパーの補助金については、4分の3が国と県の負担ですね。その残りの4分の1を出せないという市町村があるのですが」 中村厚生省老人福祉計画課長 「4分の1を出せないということとは、絶対にありません。4分の1を出したとすると、それは確実に地方交付税で埋められます。出せないということは絶対にありません」 ●訪問看護婦、訪問リハビリ士の訪問にはお金が出る 「訪問看護婦さんが訪問した場合には、これは老人保健法の制度ですから、医療保険の方から支払われます。訪問OT、訪問PTも同じで、OT、PTが訪問すると、お金が出ます」 (中村厚生省老人福祉計画課長)
	人員の要望	11	-	3	-	-	1		
	実施状況	▲	-	▲	-	-	▲		
	稲築町	人員の現状	3	1	2	0	0	0	
	人員の要望	-	2	-	-	-	-		
	実施状況	-	○	-	-	-	-		
	嘉穂町	人員の現状	3	-	1	0	0	0	
	人員の要望	4	-	-	1	1	1		
	実施状況	▲	-	-	-	-	-		
	頼田町	人員の現状	1	-	1	0	0	0	
	人員の要望	2	-	-	1	1	1		
	実施状況	▲	-	-	-	-	-		
	筑穂町	人員の現状	2	-	1	0	0	0	
	人員の要望	3	-	-	1	1	1		
	実施状況	○	-	-	-	-	-		
	碓井町	人員の現状	2	-	1	0	0	0	
	人員の要望	-	-	-	-	-	-		
	実施状況	-	-	-	-	-	-		
	穂波町	人員の現状	8	-	2	0	0	0	
	人員の要望	11	-	3	1	1	1		
	実施状況	▲	-	▲	-	-	-		
	庄内町	人員の現状	4	-	2	0	0	0	
	人員の要望	5	-	-	1	1	1		
	実施状況	▲	-	-	-	-	-		

汲み上げてほしい。
 [16] 覆たきりゼロ作成の一環として、「機能訓練事業」を八町もれなく町で実施してほしい。
 実際に懇談会資料として提示された文書の中から、

上記の一六項目の[1]、[2]を引用し、皆さんの参考に供したいと思えます。
何が変わりましたか

一九八六年度から一九九

○年まで嘉穂郡社協事務局を担当された穂波町社協の井上英晴さんに、「郡社協の取り組みが活発になってきて、何が変わりましたか」とたずねてみました。
 次のような答えが返って

きました。
 「一番大きな変化は、何か問題が起きたとき、個別に○○さんと○○さんが話し合うのではなく、嘉穂郡社協の担当者会議で考えようというようになってきたこと」

担当者会議は事業を起こし、課題の解決を行政へ働きかけ、政策レベルに高めする仕掛けをします。郡の共働事業も始まり、会長・局長会議も単なる承認のため

の会議ではなくなりました。たとえば、福岡市の福祉公社がらみでホームヘルパーの問題が起きたときには、何が問題なのか(問題意識の持ち方)を担当者会議で話し合います。署名活動をやろう、ホームヘルパーさんと合同会議をやるとういうことになりました。結果として、署名活動に取り組み、ホームヘルパーさんとの合同会議を嘉穂郡社協の次年度計画に組み入れま

当然情報交換も密になり、良い意味でお互いに気がかりな関係ができてきました。どういう課題に対し、どういう取り組みが展開されているのか気がかりになってきました。逆に、「ボランティアが何人増えた」などという気にはならなくなりました。担当者も会長も事務局長も、意識は変わってきました。専門員はもっと勉強せいかん!という意識も高まってきています。勉強もしてきています。日常の活動を通して、住民の意識も確かに高まってきていると感じています。住民がある程度の共通認識を持てる時代になってきたのだと思います。

職 連
新たな
なる局面

「高齢者保健福祉推進十か年戦略」と、それを法的に担保する「社会福祉関連八法」の改変。「新・社会福祉協議会基本要項」の制定、そして「地域福祉活動計画」と「ふれあいネットワークプラン21」の提起。新たな時代状況の中で、社協と職連の果たすべき役割も新たな局面を迎えているのだと思います。

「社協としての思想と行動論理、そして社協職員、専門員の福祉意識と態度」が鋭く問われようとするとき、広島県社協の宮本秀夫課長（まなこ発行一〇周年記念特集に「今こそ自己点検を」というタイトルで原稿を寄せてくださいました）が、昨年の十一月に他界されました（の姿と言葉を思い浮かべてしまいます）。

ある研修会の席上、「在宅福祉サービスのあり方」が市町村社協の専門員により論議されていたとき、やおら立ち上がって「そんなものはする必要はない！風呂桶かつぐのが社協マンの仕事ではない」と一喝されたこと、よく口癖のように「広島弁の福祉を創ろう」と言われていたこと、地域からの発想・地元からの発想を最も重視し、自分では「モンロウ主義」と言い訳して、全国会議もキャンセルして、ひたすら広島にこだわり、愛した社協マンであったこと、「組織化そのものが『運動』である」という哲学をお持ちであったこと等々を伝え聞きます。詳しくは、月刊福祉（一九九三年三月号）の福祉つれづれ記③「地域福祉近代化の中の情念（こたわり続け）たものから学ぶ」をお読みください。

こたわりにこたわり続ける社協マンでありたい。

フリートーク

私の一日・・・



しめまち NOW!!

志免町社協
 佐々木 信哉

我が社協は、町民ふれあいセンター二階の社会福祉センター内にある。ちなみに一階は保健センター（役場健康課）・三階は町民図書館である。

センターは、平成三年四月にできたこともあり、とにかくキレイで気持ちがいい。……入口の自動ドアが開くと吹き抜けで、天井には、カモメが飛んでいるしBGMがいやらしくない程度に流れている。

一階の美人保健婦五人衆をガラス越しに見ながら、二階に上がってみると社協事務局がある。

みなさんここまで読んでうらやましいと思っただけでしょう。まあ、問題はこれからです。

事務局をチラッと覗いて思わず息をのみ、首をすくめたあなた！
 そこには何がありましたか？……そうですね！言わずと知れた……坪内局長がいるではありませんか！
 （ここでちょっと紹介を）

我が町は、人口約三万五千人の小さな町ですが「ちなみに佐々木は宇美町に住んでいます」、事務局には五人のスタッフがいます。
 ☆坪内局長 ●歳。もう何も言いません。 ☆吉原主任 ●歳。いつも笑顔でキツイ一言。 ☆木村君 二十六歳独身。アイキョウはいいが心は真っ黒。 ☆飯田君 二十三歳独身。オーツとびつくりエビスさんそっくり。 ☆佐々木 二十五歳独身。ヒマと女は自分で探せ主義。
 そのほかにも、ヘルパー（宮崎主任・伊藤・廣田・吉本さん）、福祉バスの中島さん、重度心身障害者施設の安河内さんと事務所には十一人います。
 そして、我々をいつも温

かい目で見守ってくれているドン江藤会長（常勤）：こういう愉快なキャラクターとともに、毎日楽しく働いています。

この文章を読んで、興味半分でも見てみたいと思われた方は、遊びに来てください。待っています。

一方、佐々木は……四年度新規の社協型ディサービス、事務局通信など仕事に追われる毎日で、タバコを吸いながら企画をしている時に幸せを感じ、アフターファイブに夢を追い、目をランランと輝かせているのであります。

点訳一年生

杷木町社協
塚本 朋子

福祉福祉と言われながら毎日が雑用で終わる私ですが、僅かでも自分の力で役にたてればと思ひ、今点

訳の勉強をしています。

最初は軽い気持ちで、簡単な文章の読み書きが出来れば、福祉に係わる者として、言い訳ぐらいにはなるだろうと思ひ、始めました。又、社協でも、昨年八月、一週間学習会を開きました。これが最初のきっかけです。その後も数名の参加者を得ながら、月二回の学習会をし、短い文章に挑戦しています。

墨字を点字に直すことがこんなに難しいとは思いませんでした。五十音、濁音、拗音などを覚える事は覚悟していたんですが、マスの開け方、長音符の使い方、その他にもたくさん決めりがあります。一つの文章が出来あがるまでには何度テキストの説明を読まなければならぬか分かりません。晴眼者である私達はテキストを見る事が出来ますが、盲人の方は全部記憶する以外はありません。すばらしい頭の持ち主だと思います。私にとって点

訳は良い頭の体操になり、

自分の頭の悪さ、記憶力の無さを感じる時でもありません。ところで、私達は、墨字も点字も見ることが出来ます。読む時は凹面の方を右から左へ目で読んでいきま

す。とても盲人の方のように凸面から指先だけで読むことは出来ません。しかも、私達が墨字を読むのと同じ速さで読まれます。凸面は音標文字が逆になるので晴眼者の人にも難しいものです。しかし、最近、テープを好まれる盲人の方が多いように思われます。テープは仕事をしながらでも聞かれるからだそうです。又、音響混じりの明るい声を聞けば気分転換にもなります。我が社協では、テープの吹込みは、現在ボランティアの人達を取り組んであります。私達点訳グループも昨年の福岡ボランティアの集いで、他町の点訳仲間を知ることが出来ました。すばらしい活動内容も聞くことが出来、ただただ感心する

ばかりでした。

食堂のメニューや電話番号、案内図等、実生活の中で点字に直さなければならぬものがある。暇を見つけては、テキストを開くこととし、いつの日にかお役に立ちたいと思っています。

**さよなら
"文化街"**

北野町社協
野瀬 光治

テーマが私の一日ということ。原稿を依頼されましたが、何を書くか迷いました。編集委員さんとの雑談の中で子供が生まれたことを話していたら、そのことを書いてもらっていいですよとの事でしたのでペンを取りました。私は、結婚七年目にしてやっと父親になった専門員です。これまでの経過を話しますと長くなりますので省きますが、こ

の道のりは大変長いものでした。わが家も大人ばかりの生活で話題が乏しかったんですが、子供がいることで何か明るく楽しくなったような気がします。仕事から帰ってきて子供が寝顔など見ていると、又明日から頑張ろうという気にさせます。子供というのは不思議な力を持っているものですね。私のことですから、何か親バカになりそうな感じも多少しています。

ついこの頃まで久留米の文化街をうろついていた私も、足が自然と家庭に向くようになりました。子供の力とはたいしたもの。これからも公私ともに一層頑張らなければならぬと思つてます。余り書くことがなく短文で申し訳ありませんが、これで終わりにします。



職業婦人は大忙し

三瀬町社協

広重千代子

只今七月二日の午前〇時二十分、締切日をとうに過ぎたこの原稿を書いていません。編集委員の皆様ごめんなさい。

筑後地区専門員の一泊研修から帰ったばかりです。専門員会に出席すると、何だか自分が偉くなったような錯覚をおこし、顔つきまで変わる気がする。しかし実際は自分の無学さを毎回思い知らされ、ズーンと落ちこむのであります。そこで、新しい専門員がほしい！若い男性の専門員が。そして、静かでおとなしい私は事務職に専念したいと思うのでございます。専門員をやめると出張も減るし、素敵な皆様にお逢い出来なくなるのがとても

残念ではありませんが、我が町の福祉のためにはその方が

良いと確信する次第です。しかし、事務局が三人体制になるのはまだ先のようにです。その日まで、皆様の足をひっぱらぬよう、何とかついて行きたいと思えます。と、ここまでで指定の原稿用紙がやっと二枚終わりました。あと二枚もあります。「社協業務にこだわらず、日頃つらつらと考えていること」を書けば良いのだそう

うな。いかに自分が何も考えずに日々過ごしているかが良く分かりました。私の一日は、午前五時起床、家族四人の弁当づくりから始まり、洗濯機をフル回転させながら戸籍上の夫と子供達の時間差朝食。狭い畑には待遇の悪さにもめげず(社協と同じ)夏野菜が元気に育っています。午後になると、仕事のみならず今晚のおかずを悩ませ、帰宅後はまたフル回転。職業婦人は皆さん同じでしょうが、健康な体に生み育

ててくれた両親に感謝♡

その両親も、かたやパーキンソン病、かたや白い杖のお世話になり、福祉に携わる身でありながら、自分の親も看れない思いに涙する時もあります。親と離れている分、こちらで接するお年寄りに両親が二重映しとなり、出来るだけ相手の身になって笑顔で対応しようといつも思っています。

美しく老いる

宇美町社協

佐々木文江

志免町社協の佐々木専門員より「まなこ」の原稿をお願いします。との電話があり軽い気持ちで受けたものの、切がせまってきてあせっています。社協に入ってから四年目ですがやっと社協用語が理解出来る様になった次第で、他町の活躍を聞くにつけすばらしい人材が揃

達と交流しながら年を重ねたい気持ちです。

生命を大切にしろよ

刈田町社協

福山 直樹

「子育ての事について書いて下さい」という依頼です。ので、思いつくままに、それらしき事を書いてみます。

私の子育ては、少し格好をつけて言えば、敬慕するあの方の「生命を大切にしろよ」という言葉の意味を「問いつつ」「問いつつ」の日々だと思っています。長女は昨年一月にこの世に生を受け、顔が父親似という点を除けば、周囲の期待をさほど裏切らず、スクスクと成長を続けています。このごろは早くも二、三の芸を身につけて、周囲を笑わせたりしています。結婚してしばらく子ども

っておられるのだなあとつくづく考えさせられます。おそまきながら今年独居老人会食サービスを始め、地域の公民分館に独居老人の方を招待しゲームや軽運動をして昼食を食べる中で感じた事ですが、女性が圧倒的に多い事です。女性の寿命が男性より高い事は判ってはいたものの、現実には前にする女性の元気な事には感心します。日常の生活態度も規則正しく食生活もきちんとしてある事が長寿の秘訣だなあとつくづく感じました。今の若い世代の夫婦は男性も炊事、洗たく、育児も平等に家事分担がされている様ですので、将来は男女同じ位の平均寿命になるのではと思います。若しかしたら男性の寿命の方が高くなっているかも知れませんが、何故なら女性の方が……だから(考えて下さいね)セクハラになるといけませんので！美しく老いる為に足腰をきたえ趣味を持ち、若い人

ができなかつたせいもある
のでしようが、「我が子かわ
いさ」は人の比ではないな
と自負？しています。しか
し一方では、「子どもは社会
の宝」「一個の人間」そんな
思いも強くしております。
それは、子どもを通じてい
ろんな人間関係ができた
り、だれかの生きる喜びにな
たり、いくつかのサーピス
を直接受けたり、なんかそ
んな事から、子どもは、社
会的存在としてちゃんと能
動的に生きているんだなあ
という実感がしています。
だから、「最近猿でも反
省する」(不謹慎な言い方
ですが)なんて言う人がいま
すが、私たちも生き方を少
し反省する必要がありますの
かと思っております。「子ども
は社会の宝」と言っておき
ながら、私たち親をはじめ
社会の方々は、私の長女の
ためにどんな社会を創りだ
し手渡そうとしているので
しょうか。「今住んでいるこ
の地球は、未来の人から私
たちが借りているんだ」と

いうすばらしい発想をして
いる人がいますが、真面目
に考えてみると果たしてど
うなのでしょう。天井知
らずのように進歩する文明
は、自然を完全に敵にまわ
してしまいます。私自身、日々
の暮らしは、その文明の恩
恵にどっぷり浸かっており、
それなしにはとても生きて
ゆけないでしょう。車に乗
り排ガスをまきちらし、電
気は使い放題、ゴミは「こ
れでもか」と言うほど出す。
私が生活し続ける事は、も
しかしたら私の長女の生命
を縮めていることかもしれ
ないと、ふと思ったりする。
あの方の「生命を大切に
しろよ」という言葉は、ひ
よつとすると、そんな事を
少しは真面目に考えろと言
っているのかしら。



今朝は、やけに油こかつ
た。起きたらいきなり濃い
やつだった。一気に入
目が覚めた。身体の奥に入り
こむと二、三日は油ぎった
まま過ごさないといけない。
ゆううつな気分である。
それに比べて、あいつは
いい。使う人にもよるが、
だいたい毎日きれいにし
てもらえるし、洗われたあと
はすっきり爽快な面持ちで
ある。一日中窮屈な靴の中
で過ごさなければならぬ
ことには同情もするが。彼
が朝家を出る時は「今日も
一日頑張るぞ」という気概
を発しているが、帰ってき
た時のあのうつろな目を見
ると結構大変なんだと思
ってしまう。その点自分は
いい。割と自由な空間に居

**今日は、
カレー曜日**

福岡県社協
堀 三郎

て働くのは、朝昼晩のそれ
ぞれ五分ずつ位だから楽で
ある。ポーツと一日を過
している。少し退屈な気も
するが。そんな自分を知
るか知らずか、時折お客も
訪れる。というか目の前を
通り過ぎる。中には私の身
体を遊び場にするものもい
るが。その点、便器の近く
で、白い顔をしてじっとた
たずんでいるあの人も楽じ
やない。突然目の前に誰か
が現われたかと思うとぐる
ぐる回されて、このところ
ずい分やせてしまった。
そんなことを思っている
うちに仕事の時間がやって
きた。今日の夕食はカレー
だ。これでまた二日程、色
とにおいが身体に残る。
ゆううつな日がまた続く。

**UFOスペ
シャルの朝**

福岡県社協
岡山 隆二

いつものようにバスに乗
る。雨の日はとくに混むが
不幸なことに今日はその日
だ。この中に三十分近くも
いると思うと気が遠くなる。
いつもは立ちながらでも本
を読んで気を紛らす。厄
日ははこういう日をいうの
だろう。本は家で留守番を
している。
「ブルル！」信号待ちで
バスのエンジンが止まった。
昔、学生の頃、教室が急に
一瞬静かになることがあつ
たが、そのような状態であ
る。長い沈黙が続く。まる
で時間が止まったようだ。
もしかしたら宇宙人が時間
をとめて私をUFOにつれ
ていき、実験してから気づ
かれないよう元の姿勢にし
てから、時間を動かすので
はないか。教室が急に静か
になるのも、再び時間が動
き出すときの時間のスキ間
なのではないか。
そんなことを考えている
うちに目的のバス停につい
た。いつものように会社に
向かっていく私であった。

特集

PART II

◆寄稿◆ 「国連・障害者の十年」 そして、これから

市民と共に 歩む時代

福岡市国際障害者年
推進連絡協議会事務局長

下川 悦治



「国連・障害者の十年」 がもたらしたもの

一九八一年の国際障害者年とそれ以降の「国連・障害者の十年」は、「完全参加と平等」の理念を掲げ、保護の対象ではなく人権保障という観点を明確に打ち出し、私たちに衝撃を与えました。国内でも、各種の施策が展開され、障害者雇用金制度の創設、障害者雇用促進法の大幅な改正、精神衛生法の改正などがされましたが、施策面以外からの成果をあげますと、

① 障害の構造の新たな展開
② 世界保健機構が発表した「国際障害分類試案」をはじめ、障害の内容が、障害が固定しているかどうか

どの「機能・形態障害」だけでなく、「能力障害」「社会的不利」などがあるというもので、障害の範囲の抜本的な見直しを迫るものとした。

② 人権保障が主流となった
③ ノーマライゼーションという理念などの広がりがあった。

③ 自己決定の動き
④ カウンセリングなど自立生活運動が広まった。

④ 共同作業所運動の全国的な広まり。

⑤ 障害者団体の連携の強化。

これ以外にも、多様な動きがありました。保護・依存から自立生活と人権保障への転換が、一部の人の主張でなく、大きな合意に

今後の課題

なるなど、様々な新たな動きがありました。反面、積み残された課題も多く、障害者福祉の基盤整備が図られたというのが、この十年の到達点だと思われれます。

政府は今年「新長期計画」を策定しましたが、そこでは「全員参加の社会づくりをめざして」を掲げています。新たな段階での目標が示されていますが、そこで今後の課題の一部についてふれます。

① 福祉法適用外障害者との格差拡大
② 精神保健法により、精神障害者の社会復帰施策が進められていますが、福祉法でないことからの限界があります。さらに、てんかん、難病など欧米では当然含まれているものも施策の対象外に放置されています。最近、エイズをめぐる話題のひとつに、就労を断わられた例もありました。が、てんかんを持つ人などは日常的な出来事です。全

市民運動としての障害者運動を

国際障害者年以降、大同団結しての活動が継続されてきました。が、現在、横断的組織の再編が進められています。障害者団体についても、親の会、障害者だけの会など様々です。しかし、団体の規模の大小、補助金の有無、福祉法適用の有無などから、活動の内容、目標も違うし、財政基盤にもかなりの開きがあります。

ての障害を対象にした福祉法の制定が求められています。

② 「障害をもつアメリカ人法」(ADA法)は世界中に衝撃を与えました。社会参加を保障することを理念だけでなく制度化するものですが、日本ではどのようなしていくかが問われています。

③ 障害者雇用促進法は、ILO条約の批准により、対象を広げていますが、精神障害者、てんかんを持つ人、難病などの施策は立ち遅れています。

長期的には障害者団体と関係機関のネットワークづくりが不可欠ですが、そのためには、

①障害者団体の連携の必要性が、リーダーの中で十分理解される必要があります。

②障害者団体が、専門職、ボランティア、市民と連携

していく組織にすることで、従来とは違った運動を作れるし、それが時代の要請だと思います。

③行政権限が自治体に移行していきます。それに対応した組織づくり、当面、県段階の横断的な組織が求められていると思います。

市民と共に歩む時代が到来していますし、共に生きていける環境づくりこそが今後の課題になるでしょう。



障害者にとっての自立ってなんだろぅ

白鳥の家
高橋 麻美



障害者は身の回りの事を一人で全部できません。だからと言って親に頼らずボランティアや行きがかりの人に手伝ってもらおう事が、障害者の精神的な自立だと思います。

療護施設にいた頃「私は何でここにいるんだろぅ」とか、園生が亡くなって行くたびに「施設ばかりの人生はつまらない。姉達に頼らず一人暮らしがしたい」と、自宅の隣の他人の家を借り一人暮らしを一年程しました。

都会ならばボランティアの数も多いし理解もあるだろうけど、田舎はまだまだ理解が薄く家族に頼るしかありませんでした。自分も精神的に幼い所もあり満足

な一人暮らしとは言えませんが、憧れ続けていた「一人の部屋と一人の時間」を不安な中にも楽しく過ごす事ができました。

「何故私はあのまま一人暮らしを続けなかったのかな」と今思います。親がいるうちから自立をしなければならぬって事は頭では分かってる。親が先に死ぬって事も分かってる。ただ親が元気である今だからこそ、短くてもいいから児童施設にいた頃の「歩けるようになったら家に帰る」の夢を今叶えたかった。

沢山の夢を持っていても、努力が足りないせいかな夢は抱えたまま消えてゆくから、自分の夢一つでも叶えたいと思った。

私の足と子供たち

「ちくほう共学舎」代表
福廣 洋子



この私の本心を人から笑われるかもしれないけど、精神的に大人になって人を引き寄せる力ができたら又一人暮らしをしたいと思う。大牟田の友人から「自立をするなら大牟田で…」久留米の友人から「久留米で…」

とそれぞれ声かけてくれる友人達には悪いけれど、私は大好きな我が町で親から離れてボランティアの支えで生きて行けるように自分自身も努力したいと思います。

私のことをおばちゃん、お姉ちゃん、ようこちゃんと呼び方はさまざまであるが、私の魅力的？な足に子供たちは一様に関心があるみたいだ。

Iちゃん。

「お姉ちゃん、どうしてこんなの（補装具）しているの？」

「小さい時、病気で足が動かなくなったのでこれをして歩くの」
「じゃあ足に湿布してい

るの？」

「湿布はしなくていいのよ。」

病気と障害は違うということ、うまく説明できなくてごめんね。

Tちゃん。

「こんなに人がたくさんいる所にきて恥ずかしくないの？」

「もう慣れちゃったの。」
そばでお母さんが「Tちゃんも慣れんといかんね。」

10年間を 振り返って

志免町役場
西山 美穂



両感音性難聴の障害を持つ私は、10年間いろいろなあつりましたが、差別なく健常者の中で育てられました。そのおかげで言葉もはつきりしゃべれるようになり、

今では社会人として働いています。何事にも負けず嫌いな私は、難聴のことについてあまり悩みませんでした。これは、一生治らないってこと自分も覚悟してた

Tちゃんは片方の手に障害がある。どんな思いで言ったのか分からないけど、Tちゃん、嫌だなと思ったことあるのかな？私にもあったように。でも障害も個性で、それを持ってるのがTちゃんであり私だと思ふの。そのことが分かるまでには、いろんな人に出会ったり、ぶつかったりしながら時間はかかったけれど、そんな事をあの時、ちゃんと言えなくてごめんね。S君。

に涙をいっばいためながら、「そしたら、ようこおばちゃん自転車に乗りきるね。歩つきるね」と言う。自転車に乗れることや、歩けることってそんなに大したことではないこと、私を見てて気づいてくれるかな？でも補助なしの自転車に乗れるようになっていいます。コちゃん、できんと？」よ

し、どんなに悩んだってしかなかったから、強く生きようと思いましたが。生後から小学三年ぐらいまでずっと言語訓練に通い、その時は小さかったのでつらい思いはあまり身に覚えがありません。一番つらかったのは、母だと思えます。こんな私をしつかり育ててくれた両親に感謝しています。もし、両親がしつかり育ててくれなかったら、私はどうなっていたのでしょうか。きつと、無口で家の中にずっと閉じこもっていたと思います。10年前小学五年の当時、勉強はあまり好きではなかったの、バレーボールとバスケットボールに力を入れていた私は、ある人から「どちらか一方に決めなさい。」と言われ、バスケットボールの方が好きだったから、中学三年までずっと頑張り続けました。

来たので、自分は身体障害者じゃなくて健常者と同じだと思っていました。そのため、手話のことは全く知りませんでした。ある日、母が手話を習い始めて「手話って何だろう？どんなの一回だけ見に行ってみよう。」と思い、ついに行ってみるとびっくりしました。みんなが指を動かしながら話してるではありませんか。指で話ができるなんて「すごいなあ。」と感動しました。この頃から志免町障害者の旅行に誘われて、障害者のみんなと接することができました。その時に、社会福祉協議会の木村さんと佐々木さん二人と知り合い、楽しくしゃべっている、みんなから「兄妹みたいね。」と言われ、いっつもうれしくなります。

志免町では、毎年身体障害者の旅行があり、それに今年初めてボランティアとして参加しました。これからも参加し、同じ障害を持つ者として励まし合いたい

詩

こんな日を私に

富田 淑

手をのばせば
すぐそばに
あたたかい思想が
住んでいて
花で囲まれた
ペランダには
甘い果実や
やさしい言葉が
実っていて
錆びついた
貝殻のように
腕や足が動かない
仲間たちと
車椅子のまま
森の中の
動物たちのように
飛び廻っている
こんな日を私に

なかよしこよし

河野 文彦

あの子は、いつも、学校でほめられる。学級委員もやっています。休み時間は、友達とドッチボール忘れ物も遅刻したこともありません。学級会でもリーダーやっています。学校休むことっていえば風邪ひいた時ぐらいかな？

あの子は、いつも、学校でおこられる。掃除当番、やっています。休み時間は、友達の中にはいりません。忘れ物、遅刻、いつもやっています。学級会ではいつもだまっています。学校で楽しいことっていったら給食の時間ぐらいかな？

どうして、どうして、こんなにちがうのかな？
 どうして、どうして、こんなにちがうのかな？
 だけど、だけど二人はとつても、とつても仲よしなんだよ。

さんぱつ

中津留 豊

せんせい きょうは、おかあさんにかみのけをつんで もらったよ。いさむも いっしょにしましたよ。

すこし いたかった。



らいおん

八谷 藤貴子

せんせい、あのね、らいおんの本をみんな いっしょにみたいよ。

【新連載】
 ユニーク社協
 がやって
 きた!?

**仕組みそのものが
 ユニークなのです**

星野村社協
 梶原 重成

私の社協では「麻生園」という施設を経営しています。施設の種類は社会事業授産施設で、定員五〇人の通所施設です。施設の説明は省き、何故こうなったか、社協が施設と同居したらどうなるか、恥を忍んで紹介します。社協の法人化は昭和四一年で、周りの町村に比べて早かったのですが、発足理

由を調べてみると、当時村に授産施設を作る計画が持ち上がり、その経営母体として、又準備事務の場としての必要性から法人化が成されたようです。出発点がこうだったこともあり、施設が主で社協が従の関係はいまだに変わらず、周りにも「社協とは施設を経営するところ」としか写っていない部分が多くこのことが社協が事業を行う上で、障害となることが多いのです。予算規模や、職員数なども施設の方がはるかに大きく、例えば理事会などを行った場合、どうしても施設の運営問題が中心で、社協のことは二のつぎになってしまいがちです。又、大きな問題は処遇の面です。発足時点から施設職員とすべて同じで、お互いの財政状況が、給与面などに影響を与えあうシステムになっていっています。又週休二日制も、施設の方が実施できにくい状況にあ

心

木戸 政子

心 こなごな
紙くず見たいに
ちぎれ ちぎれに
なつて行つてしまつた
心よ さまよわないで
心よ どこにも行かないで



心広い空になあれ

木戸 政子

心 早く
広い空になあれ
広い空になつて
またそこから
やさしくなあれ

かなえられるものならば

匿名



かなえられるものならば一度でいいから
母のやさしい笑顔を見てみたい
いつのまにか脊がえびのようになまるくなり
小さくなつたかわいそうな母
さわらなくても尋ねなくつてもわかる母の姿
いつも私の耳もとから聞こえていた母の声
いつの日にか胸の高さに迄落ちてきた
こんな母に手引きされ
「お母さんごめんね……」と
そつと心でつぶやく私
あゝ何とさみしい母の老い
叶えられるものならば
叶えられるものならば
もう一度見てみたい
やさしい母のあの笑顔

るので、社協の方も実施に
至つてはけません。

このように、悪例を出せ
と言われればいくらでもあ
ります。これ以上この問
題に触れるとやばいので、
ここまでにしたと思います。

もちろん良い点も有りま
す。

施設の現場に居ること
良い勉強になりますし、事
務的な部分で、施設職員に
いつも助けてもらつていま
す。

以上、この文を読んだ方
はびっくりされたと思いま
すが、私の社協はユニーク
な取り組みをやつてい
はなく、社協の仕組みその
ものがユニークなのです。

つになつても人並みの仕事
ができないと、言い訳ばかりする私は、ホントは単なる能ナシなのでしょうか？

どうせいい仕事ができないのなら、いつそ他の社協がやつていない、そして、フクシフクシしてなくて、

誰もが気軽にできて役に立つ、しかも遊び半分でき
るような都合の良い仕事は
ないものか？と、毎朝ヘル
ストロンにかかりつつ、ク
ロワードパズルでノーア
イロンの脳ミソにシワを寄
せながら考えた事業が、「第
4級アマチュア無線技士養成講習会」です。

アマチュア無線は、機種
や電波帯によつて、近距離
から海外まで、老若男女を
問わず、いつでも、どこで
も、誰とでも交信すること
ができ、自分さえその気にな
れば、年齢や職業や性別
を越えた友だちをたくさん
作ることができますし、ま
た、緊急時には通報システ
ムの代役も務めてくれるこ
ともある便利なものです。

「遊んでなんぼ」
の福祉をさがす

ギックリ腰太郎

毎日を雑務に追われ、い

アマチュア無線ならば、一人で寂しい毎日を過ごしているお年寄りや、重度の寝たきりで容易に外出できない方たちも、空の上でいろいろな方たちと楽しい会話ができますし、たいいていの場合、誰かがどこかで受信しているのです、万一の時に心強くもあり、大げさに言うならば、明日への生き甲斐と元気を引っぱり出してくれる活力剤とでも言ったところですよ。

そして、一般健常者にあつては、そんな方たちと気軽に交信するだけでも、知らぬ間にお話しボランティア的な役割を果たし得るのです。

実際に、寝たきりで重度の障害をもつ方が無線を通じて、日頃は福祉と縁遠い人たちと知りあい、外出時の介護等に協力を得られるようになって、張りのある毎日を送れるようになった方もたくさんいらっしゃるし、急な事故等には、間接的に救急車を呼んでいただ

いたりすることなどもあります。

高齢化や核家族化の進行とあわせて、車社会が引き起こす不慮の事故等で、今は元気な私たちも近い将来、独居や寝たきりを強いられないとも限りません。

そんな時のために、各々が自ら進んで転ばぬ先の杖をいくつも用意しておかなければならないのですが、私はこのアマチュア無線が、長い人生の中で、ほんの瞬間でも一本の杖として役立つ時が必ずあるのではないかと思います、講習会のお膳立てをすることにしました。

まだ二年目ですが、受講者の中には七〇歳の独居のご婦人が、屋根の上にアンテナを立てて、一生懸命に交信の練習をしておられる姿を見ると、より多くの人に資格を取っていただき、独居や寝たきりの方々ははじめ、不特定多数の皆さんとの未知との遭遇にチャレンジしてもらいたいと思っています。

V.グループ
こうりんかい
幸福会の活動から

杷木町社協
原田 且吉

当町もご多分に漏れず、高齢化が進む一方、福祉教育の必要性を感じながら、種々の取り組みをするも、なかなか実効が上がらないのが現状です。

そこで、何か良い方法はないものかと考えたなかで、JRのお座敷列車を利用し、「ふくしふれあいGO!」なるものを計画してみました。

第一回目は、一昨年五月、仕事を終えた夕刻、筑後大石駅より臨時列車にて宝泉寺温泉へ行きました。

会費五千元。お弁当付、ビール飲み放題とあって、定員七十二名は、すぐに満員となる盛況ぶりでした。

車中では、アルコールが入り、カラオケも出はじめ、

見知らぬ人もすぐに打ち解け合い、楽しい雰囲気の中、豊後森駅到着。旅館迎いのバスに乗り換え、一路宝泉寺温泉へ。現地では、湯に入る人、蛸狩りを楽しむ人、カラオケ大会に参加する人等思い思いに時間まで過ごしていたいただきましたが、カラオケを歌った人にはカンパをお願いし、社協へと寄贈していただきました。

第二日目は、去年八月、今年はやらないのですかの皆様の声に、実施する嬉しい運びとなりました。

行ってみませんか。西戸崎へ。夜の博多湾ぐるっと一回り!!車内では、ビール飲み放題?自慢の喉を?隣の席のあなたとノミネーションしながら福祉の心で地域の輪を広げましょうのうたい文句に、筑後吉井駅から西戸崎へ一路、ピヤトレイン「ふくしふれあいGO!」の出発です。

内容は前回とほぼ同じ、今回は、「ふくしクイズ」をしたり、ビンゴゲーム等を



しながらの企画で、前回以上に盛り上がりました。

前回同様カラオケを歌った方には、チャリティーボックスへ。お陰様で約四万近くのお金が社協へ寄せられ、一石六鳥の効果?が上がりました。

中でも、若い方々の参加が多く、これからも創意工夫を凝らし色々な場を設定しながら、土壌作りに頑張りたいと思います。



【嘉穂郡民協社協合同研修会に参加の皆さん方(於/嘉穂町老人福祉センター)】

▽年齢 四四歳
 ▽経験年数 一年数か月
 ▽自己紹介
 ウイスキーをチピチピなめながら本を読み、ポケッとしていた時が大好きな「なまけもの」。

▽思いつくままに
 新人紹介とは、少しばかり



那珂川町社協 坂井由紀子

新人紹介

明日 花咲け



金田町社協 植高 節生

り面映ゆい……。しかし、考えてみれば専門員になつて一年生に違いない。アツという間の一年、されど頭の痛い一年、なおかつ気がオモイ今後。「私にできるかしら？」等とかわいい事を言うには、やはり年をとり過ぎたか。

開き直りも又々早く、福プロの厳しく優しい先輩諸氏にぶらさがりながら、前進あるのみと、自分自身に言い聞かせている。六月は決算も終わって、おかげさまでポケッとして充電することができた!!?

これから、さて、何から手をつ・け・よ・う・か……。

▽年齢 二八歳
 ▽経験年数 数か月
 ▽特技
 相手の言葉(方言)・発音をすぐ習得する(ただし外国語を除く)

▽セールスポイント
 ダマされ易い純な心

▽これからの抱負
 建設関係から転職して、まだ数か月。右も左もわからない毎日ですが、幸



桂川町社協 古野 夏子

▽年齢 三七歳
 ▽経験年数 一年未満
 ▽特技 特になし
 ▽セールスポイント
 別にあります
 ▽これからの抱負
 明るい環境づくりを心がけてゆきたい。なにぶんよろしく願います。

▽年齢 二七歳
 ▽経験年数 一年目
 ▽特技
 年よりふけて見られることと、どこでも寝られること。

▽セールスポイント
 お酒大好き、車大好き、バイク大好き、音楽大好き、そしてここ五年間は



犀川町社協 内山 知史

い上司や職場の方にも恵まれ、やる気さえあればいくらでも勉強できる環境に感激です。転職の際「ついに結婚をあきらめたか」と嘆きながらも喜んでいる両親や職場の方、地域の方の暖かい目に見守られて、「呑気・根気・元氣」を忘れずにかんばります。

地元少年の船の手伝いをしている。子供と沖繩の大好きな独身です。

▽これからの抱負

みんなから親しまれ愛される社協を目指しています。まだ一年目ですが、いろんな資料に目を通し、勉強していききたいと思ひます。

▽メッセージ

普段は社協の専門員ですが、本業は「二児神社」という神社の宮司をしています。二足のわらじですが、がんばりたいと思ひます。よろしくお願ひします。



入江美千代 新潟県社協

▽年齢 二二歳

▽経験年数 一年数か月

▽特技

どこでも寝れること

▽セールスポイント

おつちよこちよいで、ずうずうしい

▽これからの抱負

社会人としても一年過ぎましたが、我ながら勉強不足が身にしています。少しずつ勉強しながら早く一人前の専門員として頑張っていきたいと思ひます。

▽メッセージ

よろしくご指導の程お願い致します。



中島 輝光 新潟県社協

▽年齢 二六歳

▽経験年数 一年未満

▽セールスポイント

責任感が強いところ

▽これからの抱負

私は、以前老人ホームに

勤務しており、福祉全般の仕事をしたくて四月より社協の職員となりました。今のところ毎日仕事に追われ、五月病とも縁遠く、無我夢中で仕事をこなしています。体が一つあつたら、と思うこの頃です。

▽これからの抱負

ただ、ひたすら椅子をアタメ〇〇年、福祉の變動を眺めてきた私。「福祉」、この二文字ほど幅広く奥深いものはないのでは。社会福祉八法の改正に伴う在宅福祉等福祉事業の課題はまだまだ山積しています。

「初心忘れるべからず」

もっともっと勉強し、少しずつでもいい、これらの福祉を追いかけるのではなく、一緒に進んで行けるように頑張っていきたいと思ひます。



藤田マリ子 新潟県社協

▽年齢 三〇プラス?歳

▽経験年数 一年未満

▽セールスポイント

忘れっぽくてオツチョコ

チョコイ、陽気で楽天家の私ですけど、やるときは

編集後記

まなこ編集委員長
浮羽町社協
松岡 次弘

まず、読者の皆さん、並びに原稿をお寄せ頂きました方々に、発刊が大変遅れましたことをおわび致します。

す。

新編集委員で二年間、皆さんに喜んで読んでもらえる様、編集委員一同、頭をしぼって「テーマ」や「読みやすい構成」等、色々考えて四冊(内、一冊は合併号)つくりましたが、果たして皆さんどうだったでしょうか?

ちなみに、私は四年間編集委員をさせて頂きましたが、そう余り変わっていないかも?(変わったといえれば、県社協の担当者が、四回変わりました。)

五年度からは、新しい編集委員さんで「まなこ」がつくられますが、より一層の内容が充実されることを期待しております。

四回目の担当者、県社協の藤田です。編集委員の皆さんは頑張ってくれたのですが、「ワーカホリックは、ああーかっぱえびせん」で、発行を遅らせてしまいました。申し訳ありません。